

平成24年度第1回鳥取県日野地区連携・共同協議会（会議概要）確定版

日 時：平成24年5月21日（月）午前10時～11時

場 所：日野総合事務所大会議室

出席者：平井鳥取県知事、竹内江府町長（会長）、景山日野町長、増原日南町長

ほか鳥取県及び日野郡3町関係職員

1 あいさつ（要旨）

（竹内会長）

- ・ 連携・共同協議会も2年を迎えようとしております。私もお世話をさせていただきながらそろそろ任期も来るのかなという振り返りをしているところです。それぞれ目的にしたがって少しずつですが前に進んでいるところです。

ただ一つだけ事務方から報告を受けて、特に日野町長さんにお断りをしなければいけないと思ったのは、除雪の連携の中でうまくいかなかった部分があったようで、日野町民の方に御迷惑をおかけしたという報告を受け、住民の目線に立って町民県民の目線に立ってと、より利便性の高い共同連携を進めようという目的から誠に残念でした。本当にお断りを会長としてしなければいけませんけれどやはりしっかりと振り返りながら次のステップに向かっていかなければいけないと考えております。

また農林部門も新たに重点項目ということでいよいよ出発をいたします。どうか私自身常々申し上げておりますけれど県と3町が連携をしてこの地域を県民の皆様の利便を向上していく、そしてお互いの町の地域の活性化につなげていこうという思いです。前に進むことが一歩であろうと半歩であろうと大切だと思っております。

（平井知事）

- ・ 竹内会長様、景山町長様、増原町長様をはじめ日野郡の皆様には日頃から大変お世話になっていることを心からお礼申し上げたいと思います。

是非、私どもとしては分権の旗印をしっかりと掲げて鳥取県らしい自治の恵みを住民と地域の皆様に還元していかなくてはならないと思います。

竹内会長からお話がありましたが、幸い様々な分野で全国的にもあまり例が無い中で連携共同が行われるようになりました。消費者行政、障がい者対策、更に先程お話がありました土木関係の仕事であるとか、また共同購入や行政改革など色々なことが共同で行われ始めました。

前回の協議会のときもお話がありましたように、しっかりとやってみたうえの反省もしてこれからどういう風にするかを考えていこうということでしたので、県としても協議会に是非とも参加させていただくとともに意見を申し上げまして、実りの多い協議会になるようにしたいと思います。

半歩は前進したと思いますが立ち止まって考えるべきことも片方ではあろうかと思えます。ただ農業分野だとか新しい分野に切り出していくということも出てまいりました。色んな意味で日野郡が一つのまとまりでありそれぞれの町が輝く、正直申し上げて合併を選択しなかったところが固まっていますので、だからこそ個々の魅力と或いは連携の輝きと両方で作り出すというような努力が求められていると思います。

県の行政分野もありますし、それを町と一緒にやっていくことがモデル的にもできる地域だと思っていますので、是非皆様のお力と御協力を賜りたいと思います。

2 会議録署名委員の指名

竹内会長が「日野町の景山町長」、「日南町の増原町長」2名を指名。

3 議 案

(1) 平成23年度決算の承認、監査報告について

事務局の高田事務長から資料により説明。日野町の長谷川課長から監査報告。

(議案承認)

4 意見概要

<障がい者雇用チーム>

(景山町長)

- ・ 障がい者雇用の中で農福連携を進めるということで日野郡3町と菜種の搾油について日野町の施設で取り組んでいます。会長さんの御支援もありまして菜種栽培で盛り上がっていますが、栽培が難しく、菜種の原料が集まらないという問題を抱えています。県、3町で供給していくという方向ですが、施設のほうは県の支援でしっかりと整えておりますので、私は各町県とで協力して農家の皆さん方と話をし、菜種を多く穫らなければならないということですですのでそのあたりに力を注いでいただければと思います。

(竹内会長)

- ・ 景山町長のほうから施設の有効利用のためにも県と3町共同でしっかりと菜種の生産技術の指導をしていただきたいと思います。今回新たに重点項目となりました農業分野の遊休農地の活用についてもやはりこの点の議論が必要ではないかなと思います。

(平井知事)

- ・ 景山町長からお話がありましたが、何が隘路（あいろ）となりますでしょうか、耕作が難しいのでしょうか。

(景山町長)

- ・ 搾油のほうは大分慣れてきましたので大丈夫だと思いますが、その原料が手に入りません。原料が手に入らない理由は、栽培技術がなかなか確立されていないようで、昔みたいに苗を田んぼに植えるということではなく直播きをしますので、そのときの天候にものすごく左右されまして発芽が思うようにいかないことがあります。私は技術的な問題だと思いますので改良普及員さん等の御協力を得て何とかして菜種をものにしてみたいと思います。

(平井知事)

- ・ それでは私どもも改良普及員のほうで、今年はシーズンが終わったでしょうから来年に向けて3町とよく話をさせていただきます。土地、農家は皆さんのほうで確保していただきまして、実際高い値段で売れるのでしょうか。

(景山町長)

- ・ 市販の菜種油より高いのでそれがネックになっていますが、販売は皆様に呼びかけたら売れると思います、食べてみたら違うなということです。本物志向ということです。

(平井知事)

- ・ 特産化ということで、是非メニューを考えてみたいと思います。

(竹内会長)

- ・ 私は菜種は一石五鳥の効果があるのではないかというふうに思っています。
江府町でも最終的には昨年4ha播種しましたが、残念ながら台風12号の大雨の影響を受けまして、そのうちの約4割が元気に育っています。

<重点項目：道路維持・除雪等>

(景山町長)

- ・ 私ども日野町におきましては、町界を跨る県道除雪について住民からの苦情が出まして、時間差で、日野町の業者と日南町の業者さんが接するところについては、朝米子のほうに勤めに出るような人たちが行ってみたら除雪してなかったというようなことがありまして、跨るところの除雪を非常に慎重にやらなくてはいけないなというのが反省点です。
日野町におきましては、非常に町村間の跨る道路、県道が結構多くありまして、或いは、西伯根雨線は伯耆町に跨るわけですが、これは他管内になりまして、それから日野溝口線につきましてもこれも伯耆町で他管内になるわけですので、このあたりが本当に町村の町のほうの業者さんだけで対応できるということについては限界があらうと、但し町村の中で日野町の中だけで完結する県道がありますのでもう既に受けておりますし、これからも積極的にやっていかななくてはならないわけですが、これらについては何も問題が無いと思っておりますので、そこら辺の検証が終わりましたので、これからどうするかという課題と対策案をきちんとしないと住民さんは県の時のほうが良かったのに何で町が受けたのかという意見も出ていますので、そこらあたりも9月ぐらいの除雪会議で早急に対応をしていただきたいと思いますと思っております。

(竹内会長)

- ・ 担当のほうから報告が上がってきまして御挨拶で申し上げたとおりです。特に、同じ日野郡内の町村間は検証もしていますのでしっかり意見交換できると思います。心配されております伯耆町という他管内、日野総合と西部総合との連携というところもしっかりと検証いただいて、やはり住民目線ということが大切です。通勤ができなかったということではいけないので、県土整備局でお願いします。
また、除雪会議も9月ということですから、出来るだけ早急にきちんと詰めていただいて進歩していくように努力をお願いしたいと思います。

(森本局長)

- ・ 町界を跨ぐ場所について問題点が顕在化したので、しっかりと詰めていきたいと思えます。

<平成24年度から新しく取り組む農業分野>

(増原町長)

- まだ始まったばかりですので成果を見ながらということで、今すぐという話ではないわけですが、例えば、一つには日野町さんもそうですけども、私どもも今農業のIターンという動きが非常に増えています。少子化や高齢化や過疎化が進んでいる部分が共通課題として、やはり若い方のIターンを増やしていくというふうな、特に一次産業を中心としたIターンを増やしていくことを共同で行う必要があるのではないかなど。今度鳥取県西部で企業誘致等について東京でPRするわけですが、やはりそういうようなことも一つは必要ではないかと思っています。
- また、どの町にも農林課なり、産業課というふうな形で、農と林業の一次産業というのはある程度共通的な施策として同じセクションを持っているのではないかと思っていますし、南部町と日野町と江府町と日南町と今東京都の港区と国産材の利用協定を結んでいます。やはり林業分野についても何らかの共同的な国産材の利用促進、そういうことも含めて林業振興というような部分もやはり共同してやっていく必要があるのではないかなというふうに思っています。これはまだ今年からということではなくて、この成果を見ながら段階的にそういう問題も加えていったらどうかという提案として申し上げました。

(平井知事)

- 今増原町長からもお話がありましたように、農業のIターンが受け皿としての動きが急速に広まっていますし、私も正直日野郡が適地になっていると思います。
と申しますのも、増原町長のところでは、若い人がトマトを作り始められましたけれども、今トマトが本当にダイヤモンドみたいに貴重になり始めて、なかなか都会地ではジュースでさえ手に入らないという状況でございまして、ここでそばとか菜種を念頭においているようですが、それ以外の作物も含めて特に農地の共同利用のところにつきましては、若干柔軟に取り組んでもいいのではないかと思います。
お米でいえば、黒坂で特徴あるおいしいお米が作られたり、また江府の大山のお米はピーコックのほうでも本当に評判がよかったということもありまして、やはり市場性が急速に東日本大震災のこともございまして出てきていることは間違いないと思います。今はチャンスでありますので3町共同で農地利用促進や鳥獣対策を是非成功させたいと思います。
県のほうでもここにある「人・農地プラン」以外に地域まるごとでの取り組みを応援する事業を今年度から始めたばかりです。可能であれば農地集積も当然範疇に入りますので、私どもの農林局でも勉強させていただいて、広範囲に効果が出てくるようなそういう共同施策ができるようになればいいなと思います。

(景山町長)

- 鳥獣対策に目を向けていただいたことは非常にありがたいことでして、猟友会も高齢化が進み非常に困っておられます。イノシシも行政区域だけで動くものではありませんので、この3町が連携して猟友会が連携して情報交換していきながら役割分担を持ってイノシシを追い詰めていただかないと、今山に入ってみますと非常にイノシシの被害があり、このまま放っておきますと、山自体が崩壊するようなそういうような実態です。猟友会だけではなくてこうして3町と県とが力を併せてやっていくことが画期的なことだと私は思います。どうかよろしくお願いします。

(竹内会長)

- ・ 猟友会の関係ですが、イノシシだけではなくて実はシカも増えてきて、年間3、4頭は捕獲する状況も出てきています。東部ほど大変な状況ではありませんが、そういう意味からしますと、被害というものは拡大されているということです。日野郡の猟友会が一致団結して行動するという事は必要ではないかと思しますので、しっかりと協議を進めていただきたいと思います。
- ・ 新たな農業分野につきましては、前進的な御提言もいただきましたので、事務局のほうで整理しながら御検討いただければ幸いですのでよろしくお願いします。

<重点項目：監査委員事務局の共同設置>

(竹内会長)

- ・ 監査委員事務局の共同設置について議論を始めておりますけれど、私はやはり事務監査が出来るほどの事務レベルを向上するべきではないかということで、短期的目標というよりは中長期的目標だと思います。研修会とかしっかり監査委員さんの研修等を含めてレベルアップということでいければという思いも実はしているところです。

<植樹祭、まんが等>

(平井知事)

- ・ 昨日植樹祭のプレイベントをさせていただきました。本番が来年にせまっていますけれど、実は今週末に山口県のほうで今年の植樹祭がありますが、イギリスからお帰りになられます天皇皇后両陛下も参加をということでございまして、非常に皇室のほうも大事な行事、外せない行事だと、是非来年成功させるように各町の御理解をいただきたいと思います。
日野郡は緑豊かな土地ですし、植樹祭にも親しみのあるところとございまして、奥大山では植樹会場が設けられるということになります。これを機会に鳥取県から木と森と一緒に暮らしていくライフスタイルを色んな形で提案していきたいと思っております。
- ・ 更に、エコツーリズムの世界大会を来年大山山麓でおそらく実施するのではないかと思います、今調整中とございます。当然ながら色んな旅のテーマをここでも提供できるかなと思っております。
- ・ まんがにつきましては現在準備中とございますが、先般東京のほうで鳥取トリンドル王女が発足いたしましたして、これは日本の皇室とは関係ありませんが、別に王女を即位させるためにやったわけではなくて、全国の人に国際まんが博を認知してもらおうということでやりました。そうしましたら、5大放送局全部で放送されましたし、また新聞紙面でも全国面で取り上げていただくなど一定のPR効果があったかと思っております。全国の目が鳥取に集まるいいチャンスができてきたと思っておりますので、古事記の1300年祭と併せまして、こちらのほうも皆様のほうで御協力いただいてPRや色々な行事でやっていただければありがたいと思っております。
各町内、地域で色々な取組みを企画されている向きもございまして、日野郡はディーンの長谷川元社長さんの御出身地でもあり面白い企画もあるということとございまして。まだ第二次募集もありますし、それ以外も実際やっていただいて御協力できる場所は一生懸命一緒になってやっていきたいと思っております。県内各地を回って歩くようにうまく動線を日野郡にも持っていきたく思います。よろしくお願いします。

(景山町長)

- ・ 木山義喬画伯という方が根雨の出身でして、実はアメリカで活躍をされた方です。いわゆる風刺まんが、戦前からまんがを書かれてきた方でして非常にアメリカでは高名な方です。その方の風刺まんがを寄付していただきました。

(増原町長)

- ・ スタジオディーンの長谷川さんの関係でアニメ映画の上映や、安彦さんの原画展等も実施する予定です。今年一つの大きなものとして、日南町なり日野路のほうに人を誘致したいと思っております。

(竹内会長)

- ・ 江府町は、伝統行事の8月17日の十七夜にまんがと絡めてしっかりとPRして、伝統と併せてやろうということで考えております。